

TAKAGI HOIKUEN



高木保育園 7:00～18:00

定員 120名 (日・祝日 休)

生後6ヶ月～就学前

〒791-8007 松山市高木町252番地

TEL089-979-0172 FAX089-979-6269

＜特別保育事業＞

延長保育 18:00～19:00(月～金)

一時預かり保育事業

地域子育て支援センター併設

あったか家族がいいね！



www.takagihokuen.jp



保育理念

高木保育園は夢と希望に満ち溢れ、笑顔で一人ひとりが輝けるあたたかな場所・・・

子どもたちと、その子どもたちを取り巻くすべての人と共に、

未来に向かって、確かな“信頼の絆”を築いていきます

---あったか家族がいいね!---

- 一、私たちは、「あったか家族がいいね！」を合言葉に、親と子、家庭と保育園が“ステキな家族”になれるよう、子どもたちの最善の利益と福祉の増進を図り、その豊かな心と生きる力を育みます。
- 一、私たちは、子どもたちを取り巻くすべての人が「笑顔」でいられるよう、認め合い、信じ合い、学び合う「地域ふれあいの場」であり続けます。
- 一、【子どもたちの最善の利益とは】①ハンディや国籍を問わず等しく受入れをします。②子どもが愛されていると感じ大人を信頼して自分の世界を広げていけるよう、生活のお世話を丁寧に行います。③心身ともに健やかな成長ができるように、成長に合わせた環境の構成と保育内容の充実に努めます。
- 一、【福祉の増進とは】①働く保護者のニーズや希望に沿った、保育メニューに取り組みます。②保護者とのコミュニケーションを心掛け、信頼関係を深めるようにします。③地域の子育て家庭を支援する役割を果たします。



保育方針

3つの目標

保護者の就労を支援し、家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。

- <保護者への支援と協力関係>
- 子供が健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。<子どもの健やかな育成>
- 養育と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子供を育成する。<養護と教育の一体化>
- 地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。<地域の子育て支援>
- 専門職としての必要な知識や技術を身につけ、利用者に質の高い保育サービスを提供する。<職員の質の向上>

3つの保育目標！ <卒園するまでに三要素を身につけよう>



特別保育事業

●延長保育（1歳以上）

●一時預かり保育事業（1歳以上）

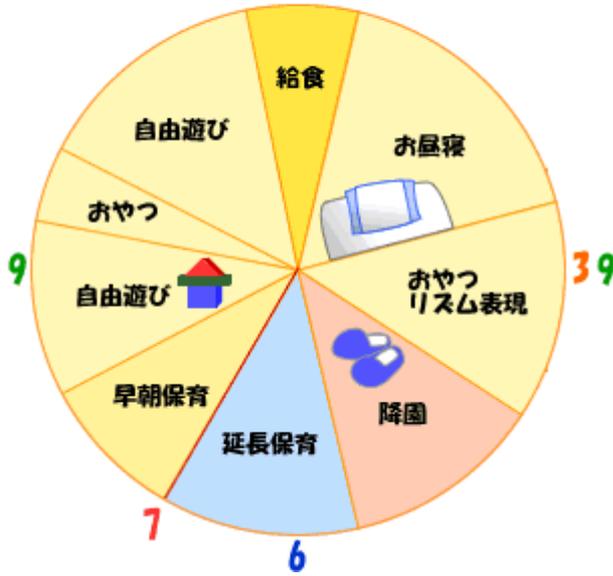


一日の保育活動



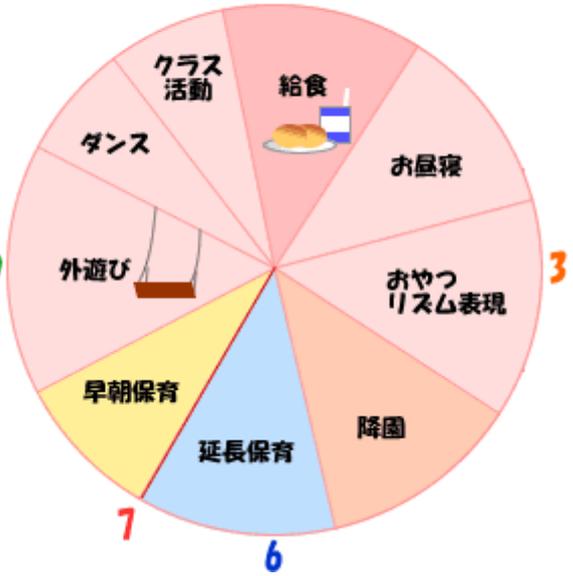
0~2歳児

12



3~5歳児

12



主な自主的事業

●体操スクール（ひまわり・すみれ）（無料／全40回）

マット運動・鉄棒・組体操、ボール運動、竹馬、なわとびなど一年間を通して基礎運動能力を身につけます。

●地域子育て支援センター

地域の子育て家庭やこれから子育てをする世代に、子育て情報の提供や相談を行い、総合的に次世代育成支援をすすめます。

●スイミングスクール（4月～6月／ひまわり）（有料）

専門のコーチにより「泳ぎ方」の基礎をやさしく指導していただきます。みんなで楽しく練習していきます。申込は担任まで

●高齢者との交流

地域のおじいちゃんやおばあちゃんとの「ふれあいの場」を設け、優しさやいたわりの心を育てます。

●英語教室（ひまわり・すみれ／無料月1）（個別有料／週1）

GoGoEnglish 主催の英会話スクール。専任外国人講師と英会話を親しむことで、幼児期からフレンドリーな人間関係を体験することができます。（満3歳以上）申込は担任まで

●完全給食（全年齢対応）（3歳以上主食代有料）

通常3歳以上のお子さんはごはん等主食をご持参頂きますが、保育園であたかかいごはん等を用意できます。申込は担任まで3歳未満のお子さんは主食・副食・おやつの完全給食を標準で用意いたします。

●ピアノ教室（個別有料／週1）

幼児期に身に付いた音感やリズム感は人格形成の基礎となる大切な要素です。ピアノ専任講師の指導で年齢に応じた指導年間を通じて毎日リズム体操を行います。また運動会シーズンを行います。

●リズム体操から鼓隊マーチ

は大太鼓、小太鼓、タンバリンなどを使って運動会の鼓隊マーチに向けてみんなが目標をもって取り組みます。

●学研教室（個別有料／週1）

学研の幼児教育指導を専任講師が週1回行います。



保育の目標

元気な子

心身ともに健康な子になるために

がんばる子

最後まであきらめない心の強い子になるために

やさしい子

人にやさしく思いやりのある子になるために

教育現場でさまざまな社会問題が起こっている昨今、子どもの頃からの「心の教育」が唱えられています。

精神的にも身体的にも健康で、守らなければならないルール等の社会性を身につけ、お友達同士の関係や大人との関係など「人間関係」を柔軟に対処できる力を養い、相手の気持ちを考え思いやりのあるやさしい心をもった子どもこそがこれからの時代に必要であると考えます。

すなわちお子さまが将来このようなバランスのとれた人格になるためには、幼年期から日常生活習慣・心身の健康・人間関係・子どもの環境・ことば・表現などに配慮していくことが大切です。

よく考え行動できる子になるためには？

よく考え行動できる子とは自分のことが自分でできるように自立しており、自分で判断して行動ができる状態をいいます。他人の指示で左右されるものではありません。

高木保育園ではさまざまな保育園ルールを決めています。集団生活の中でその決まりを守ることを社会の一員としての第一歩です。その中で、自分で考え判断できる力を養います。また自分でしたいことを選択できる環境をつくり、毎日をリズムよく過ごします。

(こい)

とりわけ、よく考え行動できる子はことばの語彙が豊かです。なぜなら、ことばは思考するための道具であり、人とのコミュニケーションの道具として活躍するからです。

ことばを習得するには、単語自体を覚える以上に、絵本や物語の中で自然に習得したり日常の会話から身につくと考えられます。

小さい頃にお父さんやお母さんに絵本の読み聞かせをしてもらうとき、子どもは動かない絵を見て、自分の頭の中で想像力をめいっぱい働かせ、ストーリーを理解していきます。また絵本からことばを覚えていきながら、子どもは絵本の中に繰り広げられるいろいろな世界を体験します。さらに絵本を読んでもらいながら、子どもはお話を真剣に聞こうとする姿勢も身につけていきます。たくさんの感動を積み重ねていくと、その考える力が養われます。この時もっとも効果的な読み聞かせは、親子のあたたかい雰囲気を読む絵本の時

間なのです。

この考える力が身につくと、やがてことばからそのものをイメージできるようになり、豊かな想像力を持てるようになります。また小さい頃からお子さんに絵本の読み聞かせのようなやさしい語りかけをすることによって愛着が生まれ人を信頼する心が育まれます。絵本や語りかけを通じて愛着が生まれると、やがて本好きな子へ、活字好きの子へと育っていきます。

ここで大切なことは「強いて教えるな」ということです。強制して何かを教えても、それは決して身につかないからです。お子さまの可能性を伸ばしていくためには、子どもの好奇心を引き出して育てていくことだと考えます。

子どもは成長過程で「これは何だろう?」「どうして?」「どうすればいいのかな?」などの疑問をもつ時期があります。その疑問を大切に、その方法や解決策を自ら考えることが大切です。大人がすぐに答えを与えてはいけません。どうしてもわからないことなどは、いい加減な答えをせず、お子さまが理解できるように丁寧に説明をしてあげましょう。

もし大人もわからないことを聞かれたときは、正直にわからないと答え、逆に子どもと一緒に本で調べるなどして答えをみつけるようにしましょう。

**バランスがとれた人間になるためには?
こんな大人になってほしいな。**



本の知識だけでなく、子どもは本物に出会う経験や実際にいろいろ体験することが必要です。ご家庭の中での日常の体験は、例えばお手伝いをすることで経験できます。散歩で出会う草花やドライブで行った海や山などの自然体験も、子どもたちの五感にすべて吸収されます。社会のことが理解できる年齢になると、できるだけ訪問や買い物、例えば音楽会や観劇、博物館、美術館、動物園、病院など一緒に行ったりして、できるだけ見聞を広めるようにして、目に見えるもの、耳に聞こえるもの、心で感じることなど、本の中やお話の中では得られないものを実体験で感じてほしいと考えます。

保育園の行事では、例えばたけのこ掘りやじゃがいも掘り、さつまいも掘り、やきいも大会、おもつき会、園外保育などをはじめ、「感性」を育てるためには空想ではなく実体験してほしいと思います。

今後ますます情報化社会で利便性が追求される中、昔からの伝統文化やその生き立ちをよく理解することはとても重要ではないでしょうか。「何でもスーパーに売っているが、どこでどのように作られたのか知らない」「壊れたら買いなおせばいい、使い捨てが当たり前、自分がよければそれでいい」などの社会風潮に飲み込まれないように、生命の大切さや人と人とのふれあいがある、心の温かい子に育ててほしいと思います。

特に高木保育園では、ゴミの分別や資源の廃品の再利用、お散歩帰りの清掃活動など「小さなE C O活動」を子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

未来の地球のために みんなでE C Oしよう!



園内MAP



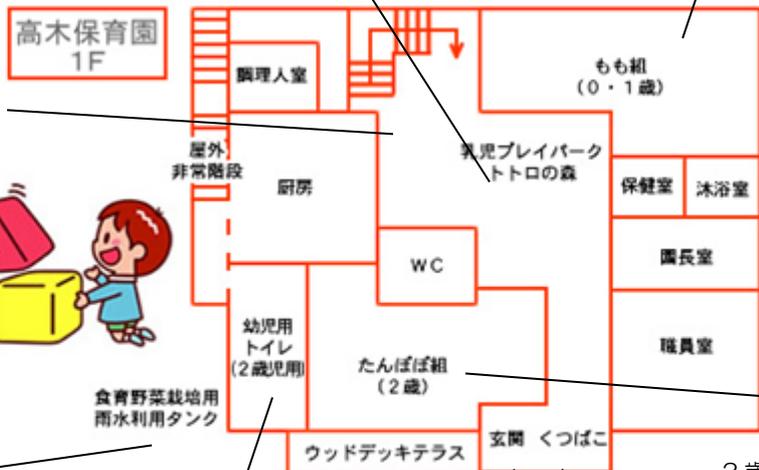
トトロの森は、乳児や保護者の憩いの場。シンボルツリーの「光る木」は、くすの木のイメージです。段差やクッションで、乳児の運動機能を高める効果があります。



乳児クラスから寝・食・遊のエリア別保育を行います。



幼児用クライミング



2歳児専用クラスでありながら、全年齢型なので早朝保育・延長保育にも対応しています。ロフト遊具で遊びが広がります。



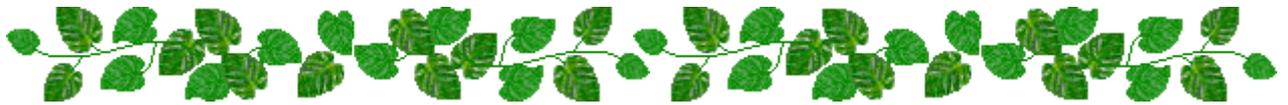
食育の「子ども菜園」でトマトやきゅうりを育てます。雨水を利用し、節水と食育を両立して行います。幼児期からエコ意識の種を蒔きましょう！



ウッドデッキテラスでランチパーティー！



採光に配慮することで、明るく開放的な空間になりました。日中は自然光でも十分です。



ランチルームでみんなと一緒に楽しい食事
注文配膳方式で給食分量を自分で決めます！



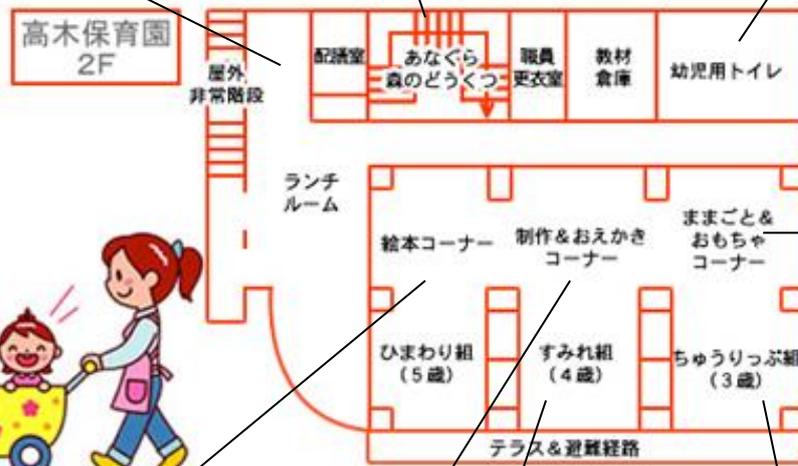
あなぐら「森のどうくつ」は、子どもたちの
情緒の安定と想像力・好奇心の芽生えを目的
としています。



コミュニケーションがとれる

開放的なトイレルーム

子ども同士がつながり、遊
びが広がるゾーニングコー
ナー。子どもたちが自分か
ら好きなコーナーを選びま
す。オープンスペースは、
3歳～5歳が兄弟姉妹のよ
うにふれあうことが目的で
す。また、適度に空間を区
切ることでクラス別の遊び
の集中力も高まります。



3歳以上専用の絵本コーナー



想像力を働かせ、自分で遊びを選び展開していきます。



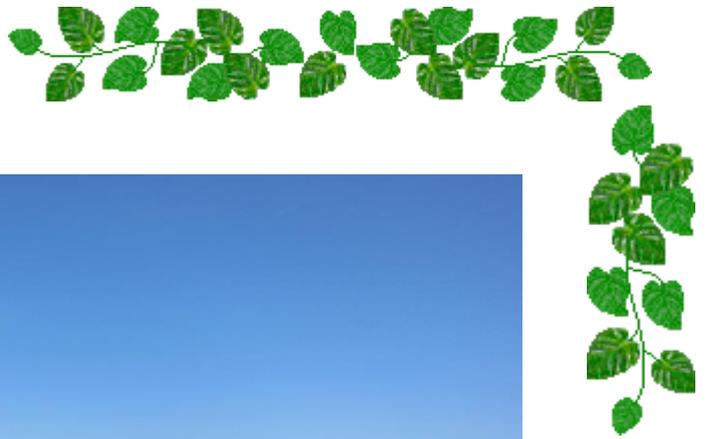
ひまわり組(5歳)



すみれ組(4歳)



ちゅうりっぷ組(3歳)



10kWを発電し園内の照明や厨房の電力をまかないます。CO₂削減！

高木保育園
屋上

園内緑化を進め、地球を大切にしたいという思いを子どもたちに伝えていきます。自然を感じ、居心地のいい空間の中で子どもたちがのびのび成長できる環境を提供します。

太陽光発電システム



ソーラー電波時計



発電量をモニターで表示